

総合的な学習の時間

2年

テキスト「善いサマリア人のたとえ」

ルカによる福音書 10 章 25～37 節

25 すると、ある律法の専門家が立ち上がり、イエスを試そうとして言った。「先生、何をしたら、永遠の命を受け継ぐことができるでしょうか。」 26 イエスが、「律法には何と書いてあるか。あなたはそれをどう読んでいるか」と言われると、27 彼は答えた。『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』とあります。」 28 イエスは言われた。「正しい答えだ。それを実行しなさい。そうすれば命が得られる。」 29 しかし、彼は自分を正当化しようとして、「では、わたしの隣人とはだれですか」と言った。 30 イエスはお答えになった。「ある人がエルサレムからエリコへ下って行く途中、追いはぎに襲われた。追いはぎはその人の服をはぎ取り、殴りつけ、半殺しにしたまま立ち去った。 31 ある祭司がたまたまその道を下って来たが、その人を見ると、道の向こう側を通って行った。 32 同じように、レビ人もその場所にやっけて来たが、その人を見ると、道の向こう側を通って行った。 33 ところが、旅をしていたあるサマリア人は、そばに来ると、その人を見て憐れに思い、 34 近寄って傷に油とぶどう酒を注ぎ、包帯をして、自分のろばに乗せ、宿屋に連れて行って介抱した。 35 そして、翌日になると、デナリオン銀貨二枚を取り出し、宿屋の主人に渡して言った。『この人を介抱してください。費用がもっとかかったら、帰りがけに払います。』 36 さて、あなたはこの三人の中で、だれが追いはぎに襲われた人の隣人になったと思うか。」 37 律法の専門家は言った。「その人を助けた人です。」そこで、イエスは言われた。「行って、あなたも同じようにしなさい。」

Study

- ① 「律法」：モーセの十戒を中心にした人間の生活と行動に関する神の意志による教えと戒めのこと。主にモーセ 5 書を指す。モーセ＝古代イスラエルの指導者。
- ② 「永遠の命」：人間が神を信じ、神との新しい関係に入ること。
- ③ 「隣人」：ユダヤ教の常識ではユダヤ民族のことに限定される。
- ④ 「追いはぎ」：通行人を襲って衣服や持ち物を奪う者。
- ⑤ 「祭司」：神と人との間に立って、民衆に代わって神に仕え、祭儀を行う人。
- ⑥ 「レビ人」：祭司の下級にあつて宗教的公務を果たす者。
- ⑦ 「サマリア人」：ユダヤ教に対抗しサマリア地方に住む人々。
- ⑧ 「憐れみに思い」：同情の思いにかられること。
- ⑨ 「油とぶどう酒を注ぎ」：接待のこと。
- ⑩ 「ディナリオン銀貨」：1 ディナリオンは労働者、一日分の給料。

Work

- ① スウェーデン方式による聖書研究にチャレンジしてみましよう。記号欄に、以下に挙げる記号を書き込んでください。記号が二種類以上でも ok です。できるだけ空欄は避けてください。また、同じ記号ばかりの記入も避けてください。右の欄には、その記号をつけた理由を簡単に記してください。

- 《記号》 ↓心に突き刺さった。感激した。
 !ハッとするものがある。共感できる。
 ?よく分からない。そうは思わない。納得いかない。

節	記号	なぜその記号をつけたのか、その理由
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		
35		
36		
37		

- ② あなたが最も重要だと思う節は何節ですか？
 ③ これまでの人生の中で、このたとえに似た経験がありますか？あれば簡略に記してください。

- ④ このたとえを読んで思うことを何でも記してください。